



〔表紙の絵〕

「未来へのカギあな」

壬生北小学校6年

桑川 かんすけ 莞佑 さん

みぶ ぎがい

No. **187**

2019

H30 12月定例会

壬生町清掃センターの長寿命化

壬生町が設置する一般廃棄物処理施設に係る生活環境影響調査結果の縦覧等の手続きに関する条例を制定

清掃センターは、運用開始から19年が経過しました。

町では、平成32年度から3力年をかけて大規模改修工事を計画しています。

工事にあたり、法律に基づいて、センターが周辺環境へあたえる影響調査を行います。

町民はその調査結果をみることでできます。さらに、その結果について利害関係のある人は意見書を提出することができます。それらの手続きを定めたのが本条例です。

なぜ改修工事が必要なのでしょうか？

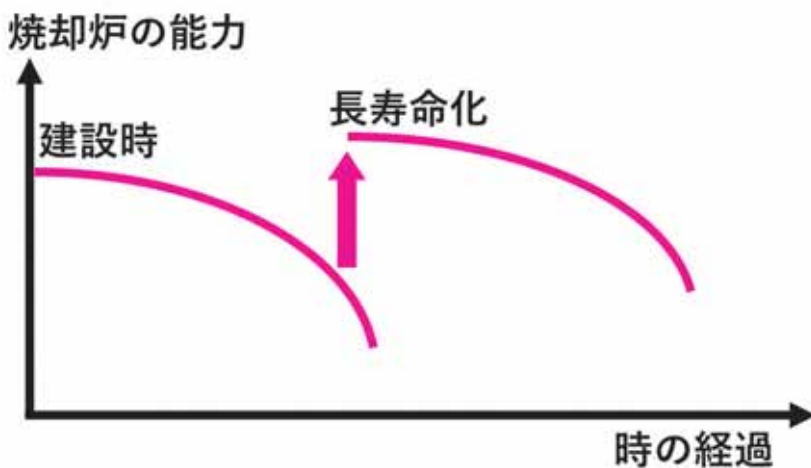
焼却炉は他の施設にくらべて劣化が早く、その能力を発揮できる期間は20年から25年といわれています。

しかし、新たに建設するには莫大な費用がかかります。

そこで、改良・修繕工事をしたり、運用方法を効率化したりして、「長寿命化」を図る必要があります。

長寿命化で施設を大切に使うことで、建設・運営・解体までの全体の費用を抑えることができます。

町では「長寿命化総合計画」を策定する方向で進んでいます。



長寿命化の考え方

皆様とともに 進めていきます

町議会では、清掃センターの長寿命化のために、全体の費用をできるだけ抑えながら効率的に運営をして、安全かつ安定的なごみ処理ができるように取り組んでいます。

日頃より町民の皆様にはごみの減量化に多大なるご協力をいただいています。

町が清掃センターを大切に運営していくことと、町民の皆様によるごみの分別や減量化へのご協力とが一体となつて、清掃センターの長寿命化がさらに図れることになりました。

町の皆様にうかがいました

ゴミの取り扱いで気を付けていることはありますか？



ガラスなど混じらないように分別に気を付けています。
30代男性



食べ残しが出ないように料理の量に気を付けています。
30代女性



布巾を使ってキッチンペーパーやティッシュをなるべく使わないようにしています。
50代女性



とにかく余計なものは買わないようにしています。
40代女性



買い物のマイバスケットを持参してレジ袋をもらわないようにしています。
50代女性



生ごみの水気を絞ってから捨てています。
50代女性

12月定例会

今回の定例会は、町長から提出された条例制定1件、条例改正1件、補正予算5件の7議案が上程され、いずれの議案も原案のとおり議決しました。

主な議決の内容

条例

生活環境影響調査結果の縦覧等の手続きに関する条例の制定

清掃センターが施設の延命化のため、基幹的設備改良事業に着手するにあたり、周辺地域の生活環境に及ぼす影響についての調査結果の縦覧等の手続きについて定める条例の制定です。本会議で審議の結果、全会一致で原案のとおり可決しました。

税条例の一部改正

平成28年度の税制改革に伴い、平成31年10月1日から「自動車取

得税」が廃止され、軽自動車については新たに、「軽自動車税環境性能割」が課税されることとなっております。賦課徴収は当分の間、県が自動車税の環境性能割の賦課徴収と同様を行うことから、非課税・課税免除・減免の対象を自動車税と同様の範囲にする必要が生じたこと等に伴い、施行前である「壬生町税条例等の一部を改正する条例」を一部改正するものです。改正内容につきましては、軽自動車税環境性能割の非課税・課税免除に相当する対象車両を定める条文及び課税免除・減免の申請に係る条文を町税条例附則において設けるものです。本会議で審議の結果、全会一致で原案のとおり可決しました。

平成30年度 補正予算(平成30年12月定例会可決)

会計名等	補正額	補正後の予算額	補正の主な理由及び事業	
一般会計(第2号)	9,034万6千円	130億9,068万2千円	各事務事業の精査を行い、過不足額を計上するとともに、国・県補助事業の確定、施設の適正な管理運営のために緊急を要する修繕、燃料費や電気料の値上がりによる施設の維持管理費等を計上するもの。 ・防災・安全交付金 ▲4,992万5千円 ・ふるさと応援寄附金 5,000万円 ・まちづくり推進基金費 6,290万円 ・子どものための教育・保育給付事業 6,967万3千円	
特別会計	国民健康保険(第2号)	9,327万円	45億5,603万6千円	制度改正に伴う費用と、保険給付費の精査によるもの。 ・一般管理費 27万円 ・一般療養給付費負担金 8,000万円 ・一般高額療養費負担金 1,000万円
	介護保険事業(第2号)	591万2千円	31億573万7千円	介護給付費等の所要額の見直しによるもの。 ・一般管理費 279万8千円 ・介護予防サービス計画給付費負担金 170万5千円
	農業集落排水事業(第2号)	109万3千円	3億5,021万5千円	施設管理費のうち修繕費を増額したもの。 ・施設管理費 109万3千円
	後期高齢者医療(第2号)	1,572万2千円	4億4,356万5千円	保険料の歳入見込みと保険基盤安定負担金の精査によるもの。 ・広域連合納付金 1,572万2千円

議案に対する賛否状況

※榎井聡議員は議長のため採決に加わりません。

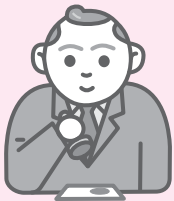
議案番号	議案名	後藤節子	田部明男	戸崎泰秀	遠藤恭子	赤羽根信行	小牧敦子	坂田昇一	玉田秀夫	田村正敏	中川芳夫	江田敬吉	市川義夫	鈴木理夫	大島菊夫	落合誠記
議案第1号	壬生町が設置する一般廃棄物処理施設に係る生活環境影響調査結果の縦覧等の手続きに関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第2号	壬生町税条例等の一部を改正する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第3号	平成30年度壬生町一般会計補正予算（第2号）決議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第4号	平成30年度壬生町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）決議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第5号	平成30年度壬生町介護保険事業特別会計補正予算（第2号）決議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第6号	平成30年度壬生町農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）決議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第7号	平成30年度壬生町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）決議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○：賛成 ●：反対

陳情の審査結果

12月定例会で、審査の終了した陳情は次のとおりです。

不採択になったもの



- 陳情第1号 難病医療費助成制度の改善を求める国への意見書提出に関する陳情書**
(難病の方が費用の心配なく医療を受けられるよう、国へ制度改善を求める意見書の提出を求めるもの)
- 陳情第2号 患者負担を増やさないことを求める国への意見書提出に関する陳情書**
(患者が費用の負担なく医療を受けられるよう、国へ窓口負担軽減を求める意見書の提出を求めるもの)
- 陳情第3号 水道工事（配水管布設工事）に関する陳情書**
(陳情者宅前面道路に配水管の布設工事を希望するもの)

議会への請願(陳情)の出し方

皆さんからの要望を町政に反映させる方法として、請願書・陳情書の提出があります。

提出にあたっては、次の事項に注意し、右の記載例を参考にしてください。

- ◆請願書・陳情書には、要旨と理由・要望事項を簡潔かつ具体的に書いてください。
 - ◆請願書は、1人以上の紹介議員が必要です。陳情書の場合は、紹介議員は必要ありません。
 - ◆請願書・陳情書の提出者は、趣旨説明として意見陳述を行うことができます。受付時にお申し出ください。
 - ◆受付締切日は、議会運営委員会の前々日となります。
- ※詳細は下記へお問合せ下さい

壬生町議会事務局
TEL 0282-81-1865

請願(陳情)書の記載例

〇〇〇〇〇に関する請願書(陳情書)

紹介議員 氏名 □□□□ ㊞

- 1 請願(陳情)の要旨
(請願・陳情しようとする内容を簡潔に、分かりやすく書く)
- 2 請願(陳情)の理由及び要望事項
(請願・陳情しようとする理由・要望事項を具体的に書く)

平成 年 月 日

壬生町議会議長 様

請願(陳情)者

住所

氏名

電話番号

(法人・団体等の場合は名称と代表者名)

経

済活動を活発にする交通網の整備を

総務部長 国、県と連携を図りながら整備の推進に努めていきます



江田 敬吉 議員

問 ①東武宇都宮線の複線化と沿線開発を。
②経済道路としての六美吾妻線の早期着工を。

総務部長 東武鉄道宇都宮線

東側の市街地を結ぶ幹線道路となる六美・吾妻線をはじめ、壬生駅周辺の市街地の骨格を形成する幹線道路が未整備となつてきていることから、社会経済情勢や交通事情、住民意向等を踏まえ、国や県とも緊密

な連携を図りながら、道路整備の推進に努めていきます。

経営資源調達の具体策

問 ①過去3年間の基準財政需要額の推移は。
②全会計の直近の公債残高と平均金利。
③借入先別公債残高と平均金利について。

総務部長

基準財政需要額の

推移は平成28年度62億4,400万円、平成29年度62億2,900万円。平成30年度63億5,200万円で、全会計公債残高の合計額は約174億円、平均金利は、1・41%となつていきます。

借入先としては、政府資金が89億8,400万円、平均金利は1・59%、地方公共団体金融機構が58億7,800万円、民間資金が25億3,800万円、0・53%です。

農地の園芸用土採掘許可

問 法解釈と実施状況の検証は。
①採掘許可基準について。
②採掘後の検証と問題点。

経済部長

500㎡以上3,000㎡未満の面積の埋め立てを行う場合には、壬生町の

条例、3,000㎡以上の面積の場合は県の条例に基づく許可を受ける必要があります。外部からの土砂等を搬入する時点において、採取場所及び安全基準に適合しているか確認するための証明書の提出、完了後においても、土砂の水質、及び地質検査の実施と検査結果の提出を義務付けています。

検証と問題点としては、園芸用土採掘後、営農が本来に再開されるのか、また、復元後、管理が放棄され近隣からの苦情があつた場合、指導を行つていきます。

問 採掘後地下構造の変化と周辺農地・飲料水への影響は。

経済部長

採掘や埋め立てが適法に行われている限りは、問題ないと考えています。



農地における園芸用土採取現場

Q&A

ここが聞きたい

一般質問

学 童保育整備とエアコン設置を急ぐべき

教育長 来年度、全小学校で学童保育開設。特別教室もエアコンを設置します



田村 正敏 議員

る調査を実施し、改善に取り組みます。調査の検討や詳細な分析を行い、子ども・子育て支援事業計画の中に盛り込み、推進します。

まちおこしについて

問 国体や藩校サミットなどを契機としたまちおこしをどのようにするか。

町長 論語大朗唱等も計画していますので、まちおこしとなるような企画を取り入れ、藩校サミットへとつなげます。

問 まちなか創生ワーキングや地域おこし協力隊の今後は。

町長 ワーキングでの意見交換をもとに、町への提言や、活性化のためのイベントや取り組みを支援しています。

問 農商工連携や六次産業化への支援は。

町長 ビジネスセミナーと交流会を開催することで、事業者間の交流を促進します。産品をみぶブランドに認定し、PRや販売を支援しています。

終活支援について

問 聖地霊園への永代供養墓設置や終活支援が必要とと思うがいかがか。

民生部長 永代供養墓の設置は聖地公園を整備する時に、他市町を参考に組みみたいと考えています。

エンディングノートについては、作成に着手したところですが、ノートは、どなたでも使いやすい平易な内容とし、来年度より希望者に配布したいと考えています。

問 学童保育整備と全教室へのエアコン設置の予定は。

教育長 来年度は、羽生田小学校、藤井小学校にも学童保育を開設します。来年度全校の理科室や図工室などの特別教室もエアコンを設置します。

問 進学ギャップの無い質の高い教育のため、一貫教育の現状と今後は。

問 貧困の連鎖を断ち切るため、より手厚い支援が必要と考えるが現状は。

教育長 子どもの貧困に関する



一貫教育で成果を上げている守谷市

学校の働き方改革にどう対応するのか

教育次長 小・中学校教職員の働き方改革推進基本方針を策定しました



小牧 敦子 議員

問 老朽化に伴う学校環境整備費の財源確保は万全か。

教育次長 施設の計画的な改修、工事費の平準化を図り、国庫補助等を効果的に活用し財源の確保に努めていきます。

発展する防災対策

問 自主防災組織が未設立地域は今後も避難訓練が実施されず町内に格差が生じる。町の見解と広域での設立についての考えは。

総務部長 現在、21自治会で設立、60自治会が未設立で、39自治会60人の防災士の方を中心に、地域での自主防災組織の設立をお願いします。また、県での防災士の資格取

得養成講座開催を要望しており、今後も防災士の方を増やし、各地域での自主防災組織の設立支援に努力していきます。

問 消防団員の準中型免許の取得・A T限定免許解除についての考えは。

総務部長 免許取得の補助や車両の小型化など、各自治体の様々な手法、状況を注視していきます。

問 アレルゲン除去食及び液体ミルクの提供は可能か。

総務部長 アルファ化米を備蓄しており、液体ミルクは、他自治体を参考に、備蓄すべきかを精査していきます。

問 国・県が働き方改革に関するガイドラインを発表。町教委は具体的な目標を盛り込んだ計画の策定や実態調査は行いますか。

教育次長 原則午後8時には退勤し、月に1日は定時退勤日を設け、毎週月曜日から金曜日の間に1日は部活動休日や部活動休日とすること。また

た、校務支援ソフトの導入を進め、学校事務の簡素化等を図っていきます。

問 負担が大きい中学校の部活動指導。外部指導の導入はあるのか。

教育次長 部活動の取組みは、学校ごとに取り決め、実施しています。

また、県での防災士の資格取

基本的には学校以外が担うべき業務	学校の業務だが、必ずしも教師が担う必要のない業務	教師の業務だが、負担軽減が可能な業務
①登下校に関する対応 ②放課後から夜間などにおける見回り、児童生徒が帰られた時の対応 ③学校徴収金の徴収・管理 ④地域ボランティアとの連絡調整 ※ その業務の内容に応じて、地方公共団体や教育委員会、保護者、地域学校運動活動推進員や地域ボランティア等が担うべき。	⑤調査・統計等への回答等(事務職員等) ⑥児童生徒の休み時間における対応(輪番、地域ボランティア等) ⑦校内清掃(輪番、地域ボランティア等) ⑧部活動(部活動指導員等) 部活動の設置・運営は法令上の義務ではないが、ほとんどの中学・高校で設置。多くの教師が顧問を担わざるを得ない実態。	⑨給食時の対応(学級担任と栄養教諭等との連携等) ⑩授業準備(補助的業務へのサポートスタッフの参入等) ⑪学習評価や成績処理(補助的業務へのサポートスタッフの参入等) ⑫学校行事の準備・運営(事務職員等との連携、一部外部委託等) ⑬進路指導(事務職員や外部人材との連携・協力等) ⑭支援が必要な児童生徒・家庭への対応(専門スタッフとの連携・協力等)

これまで学校・教師が担ってきた代表的な業務の在り方に関する考え方
 (「中間まとめ」より抜粋) 文科省より

Q&A

ここが聞きたい 一般質問

中小企業・小規模事業者への支援体制は

副町長 着実な実施を進めていきたいと思っています



戸崎 泰秀 議員

問 生産性向上特別措置法における本町導入促進計画で固定資産税が3年間ゼロに軽減措置される対象事業種は何ですか。

問 導入促進計画策定後短期間で9件認定の素晴らしい成果をあげています。さらに増やすための施策はありますか。

問 中小企業振興条例は理念条例で、実効化には管理機能が必要です。どのように計画管理をしていきますか。

商工観光課長 先端設備導入促進計画などの数値目標を含めながら、できる限り、町内の産業振興に係る目標をわかりやすい形で取り入れていきたいと思っています。

町民の生命を守る情報の発信について

問 様々な行政情報メールが存在しますが、一元管理と発信をする考えはありますか。

総務部長 町民が情報を取得

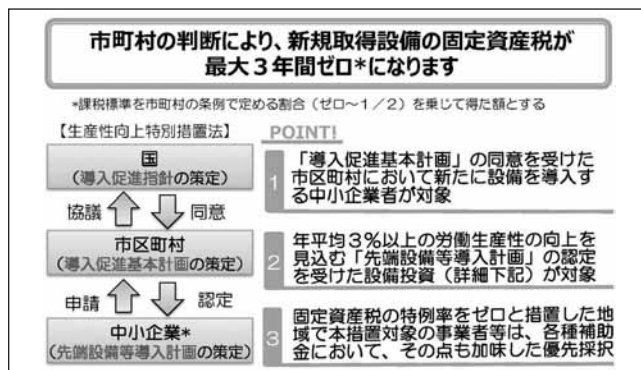
しやすくするための工夫、改善を図っていききたいと考えています。

問 通学路安全推進会議の運営状況はいかがですか。

総務部長 年に一回程度、関係機関と合同点検を実施し、安全対策の検討を行い、関係機関に改善の要望をしています。

問 交通安全指導員を情勢に合わせて増員する考えはありますか。

総務部長 今後、教育委員会や学校等と十分協議し、交通指導員の定員や配置の見直しについて検討していきたいと考えています。



固定資産税の減免措置で設備導入を促進する

副町長 本町計画では全業種を対象とし、対象業種や事業を限定せず、多様な産業の幅広い取り組みを支援します。

商工観光課長 積極的にPRを図りながら、先端設備の導入に関して認定していきたいと思っています。

国に公費の負担増を求め、国保税を引き下げよ

民生部長 低所得者の負担を考慮した制度や支援を行っています



田部 明男 議員

の減額を行うことは、全国的な協議により定められたバランスを崩し、全ての住民に国民健康保険への負担を課すこととなります。

ビニール・プラスチック類の焼却やめよ

問 分別を一層徹底し、ビニール・プラスチック類を焼却できるゴミから外してはどうか。それが焼却炉の延命につながる。

問 国が公費負担を増やす前でも、町の負担で国保税を引き下げを。一般会計などからの繰入を増やし、国保税を引き下げるべきだ。

民生部長 町の一般会計の負担増は、全ての住民の負担増となるので、一般会計からの法定外繰入れ等により保険税

民生部長 国において、低所得者の負担を考慮した軽減制度を設け、拡充を毎年図りながら財政支援を行うなど、公費負担を投入しています。

となるので、一般会計からの法定外繰入れ等により保険税

民生部長 本町では、既に資源・ゴミを分別収集し、リサイクルに取り組んでいます。再生業者に引き渡し、分別を増やし再資源化することとなる。処理委託費用などが近隣市町の状況等も踏まえ、慎重に判断していききたいと考えて

います。

東海第2原発の再稼働に反対を

問 東海第2原発は、壬生町の至近距離。町民の安全、安心な暮らしを守るために、町長は、再稼働反対の意思を示すべきだ。

総務部長 町民はもとより、

国民の皆様の生命と財産を守ることを第一の使命とし、福島第一原発事故での経験、反省と教訓を肝に銘じた、安全性、安定供給、経済効率性の向上及び環境への適合を基本方針とする国のエネルギー政策に対する考え方や、近隣自治体の動向などを見極め、慎重な対応をしていきたいと考えています。

栃木県国民健康保険 被保険者証	有効期限 平成31年 7月31日
記号 100 番号 999999 性別 男	
氏名 国保 太郎	
生年月日 昭和26年10月 2日	
適用開始年月日 平成20年 4月 2日	
交付年月日 平成30年 8月 1日	
世帯主氏名 国保 太郎	
住所 栃木県〇〇市〇〇町〇〇番地	
保険者番号 090999	
交付者名 栃木県△△市△△町△△番地	〇〇市
電話 0000 (00) 0000	
一部負担金の割合 裏面参照	

栃木県の国民健康保険被保険者証見本

Q&A

ここが聞きたい

一般質問

交通インフラの安全性と利便性の確保を

建設部長 県との連携を密にし進めていきます



落合 誠記 議員

水道事業を問う

問 ①本町の水道管の管路経年化率、管路更新率は。
 ②基幹管路、浄水施設の耐震化の進捗状況は。
 ③水道法改定による事業の広域・民営化への見解を伺う。

建設部長 ①平成29年度決算時点で管路経年化率9・38%、管路更新率0・47%です。
 ②重要給水施設配水管更新目標8,004mに対し、前年度末で5,012mを耐震化しました。南部配水場を次年度から4力年で更新する予定です。

③改正の趣旨は人口減少に対し所要措置を講ずるものです。現在、町ではメーター検針や料金徴収等の部分委託を実施し、さらに複数業務を委託する包括委託を視野に入れながら、広域連携の検討をし、で

地域文化・伝統の保護継承を問う

きるだけ低く抑えた料金を維持しつつ、安心・安全な水の供給に努めます。

問 ①壬生の無形民俗文化財協議会の運営状況、組織形態等を伺う。
 ②サポート体制に意見要望の詳細、補助金の運用状況を伺う。

教育次長 ①組織形態は、平成28年に14の保存会で発足し、現在の会員数は全体で181人です。年齢は8歳から92歳までで、平均約54歳です。運営状況は、みぶ郷土芸能フェスタの開催や、しのめ花まつり等への参加など幅広く活動しています。

②平成29年度までは、1団体当たり年間3万円の活動支援を行いました。

しかし、太鼓など楽器修繕の支援要請が多く寄せられ、本年度より活動支援にかわり、県助成金を活用した修繕支援を行っています。

問 ①本町内の事故の多い路線は。
 ②主要地方道宇都宮栃木線と羽生田上蒲生線の交差点の渋滞解消、東武線高架拡幅計画への県との連携は。
 ③壬生インター出口交差点への歩道橋設置の進捗は。
 ④国道121号線の上田交差点東側は狭隘だが。

建設部長 ①比較的事故の多い路線は主要地方道宇都宮・栃木線の獨協北側交差点から、

おおのホール国谷店前までの区間です。

②町が県へ整備要望を行い、県が跨線橋部拡幅事業に着手したところです。県との連携を密にし、早期完成に努めます。

③町で点検・検討を重ね、県に歩道橋設置に関する要望を行っています。

④町では危険性を認識し、県に対し整備要望を重ねてきました。現在、県で用地買収を進め、平成31年度に一部工事に着手することです。



通勤時の渋滞解消が待たれる おもちゃのまち交差点

委員会 研修レポート

10月18日と19日の2日間 総務・教育民生・建設経済の3常任委員会が合同により、行政視察研修を実施しました。

今年度は人口減少問題対策として千葉県茂原市、保幼小中校一貫教育として茨城県守谷市で先進的な施策を学ぶことができました。

人口減少問題対策とその成果、検討問題について

総務常任委員会所管

千葉県茂原市

茂原市では、平成24年10月に「茂原市人口減少問題対策会議」を市長・副市長・教育長・各部長と担当課で立ち上げました。対策会議の下に主管課長による幹事会をつくり、その下に具体的に計画を進めていく若手職員によるプロジェクトチーム（PT）が組織されました。

若手職員の自由な発想と柔軟なアイデアを、予算等の現実的な制約に縛られることなく実現化するため段階を踏み、実効性や緊急性を踏まえて、予算化・重要化を検討してきました。PTが提案した21の事業のうち、

- ① 子ども医療費の助成事業
 - ② 新卒者就職支援事業
 - ③ 子育て世代へのおむつ用品袋 配布事業
 - ④ インターネット事業
 - ⑤ シティプロモーション事業
- の5つの採択事業が決定しました。



各種施策の効果を想定した2040年の推計人口を8万4千878人と算出し、将来展望として目標人口を8万5千人とし、目標人口は、希望出生率で算出した将来推計人口7万4千71人に比べ、施策の効果により1万4千529人の減少の抑制を想定しているそうです。

壬生町でも、若手職員の自由で柔軟なアイデアを、どんどん取り入れ、人口減少対策問題に活かしていきたいと思いました。

総務常任委員会
委員長 遠藤恭子

世界で輝く人づくり

教育民生常任委員会所管

茨城県守谷市

守谷市では「保幼小中高一貫教育」について学んでまいりました。

守谷市は、茨城県の南西端に位置し、東京都心から40キロメートル圏内にある人口6万7千人ほどのまちですが、なんと全国住みよさランキング4位（2008年には1位）、子育て力では全国80位（県内1位）であり、その成果もあって、子どもの人口増加率も全国5位となっております。

その教育目標は「新しい時代をたくましく行きぬく人づくり」世界で輝く人づくり」であり、その実現のための施策が保幼小中高一貫教育「きらめきプロジェクト」でありました。その中で、子どもに付けたい四つの「きらめきスキル」として、「生涯にわたって学び続ける力」「ともにによりよく生きる力」「英語で話せる力」「情報を活用できる力」を定め、保育園幼稚園から高校まで一貫した教育を徹底するというものです。

その結果、どの年代、どの学校でも、均一で目的意識を持った教

育がなされ、将来の夢に向かって努力できる子ども達が育っているとのことでした。

守谷市の一貫教育は、まさしく世界で輝く人づくりを行っていった。すぐにでも壬生町にも取り入れたいと思わされる、素晴らしい研修となりました。

教育民生常任委員会

委員長 田村正敏



常任委員会の閉会中 における所管事務調査報告

常任委員会での調査結果については、12月定例会初日の本会議において、常任委員長が報告しました。

総務常任委員会

当委員会では、議会閉会中において「災害時の避難に関する事項」についての調査を実施しました。

まず、総務課消防防災係より、資料を基に説明を受けました。

今回ハザードマップを2万部作成し、全部数配布が終了した段階で次回の改訂版を作成する予定だが、今後、新庁舎建設を控えており、災害対策本部の場所も変わるため、庁舎の移転時には改訂版を作成する考えとの説明がありました。

食糧等の備蓄については、応援協定の説明を受け、避難所については、福祉避難所に避難する要配慮者は健康福祉課と連携し、見守り隊等を通じて、避難時に援護が必要な方に、避難援護希望の有無や個人的な情報を提供いただき、有事の際の避難の流れについて伝えていくとのことでした。

他県民の避難受け入れ（広域避難協定を結んでいる茨城県笠間市）について説明を受け、その後、壬生町防災センターと石橋地区消防組合壬生



石橋地区消防組合壬生消防署 現地調査の様子

消防署へ移動し、備蓄品等現地視察を行い、各所において食糧品や衣料品、毛布等の備蓄品を確認しました。

質疑を終え、委員会として庁舎建設に伴い、ハザードマップの改訂などの予定もあり、今後も引き続き町民の安全・安心の向上に努めていただくよう要望しました。

総務常任委員会
委員長 遠藤恭子

行政視察研修に来町されました

3市町の議会が視察研修に来町され、活発な意見交換や現地視察等が行われました。

伊 奈 町



平成30年11月6日 埼玉県伊奈町議会無所属の会の議員3人が「企業誘致」についてをテーマに視察研修をされました。

気 仙 沼 市



平成30年11月8日 宮城県気仙沼市議会三陸沿岸道路建設促進特別委員会の議員8人が「道の駅みぶ」「みぶハイウェーパーク」を視察研修をされました。

昭 和 町



平成30年11月15日 山梨県昭和町議会教育厚生常任委員会の議員6人が「災害時の具体的な対応について」をテーマに視察研修をされました。

第3回 壬生町議会と住民との懇談会

(トーク&ディスカッション)を開催します

本町議会では、議会活動を町民の皆様へ報告・説明し、議会活動や町政などについて皆様と直接話し合い、議会活動の一層の充実を図り活力ある町の発展に資するため、議会と住民との懇談会(トーク&ディスカッション)を下記のとおり開催します。今回もぜひ多くの皆様にご参加いただき、率直なご意見をいただきたいと思っております。

日 程	場 所
平成31年4月20日(土) 午後2時(概ね2時間を予定)	城址公園ホール (壬生中央公民館)

★事前の参加申し込みは必要ありません



山下 祐介 氏



江藤 俊昭 氏

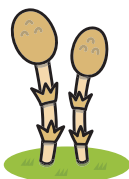
議員研修会に参加

去る11月27日、県町村議会議長会主催による議員研修会が宇都宮市で開催され、県内の町議会議員が参加しました。

研修会では、山梨学院大学大学院法学部教授江藤俊昭氏による「議会改革の新たな動向と課題」、首都大学東京教授山下祐介氏による「人口減少時代における自治体のあり方について」と題して講演があり、議会改革への取り組み方や、今後の自治体のあり方などについて研修を受けました。

議会広報特別委員会

委員長	赤羽根 信行
副委員長	遠藤 恭子
委員	戸崎 泰秀
”	田部 明男
”	後藤 節子



後藤節子

立春とは名ばかりの朝晩の冷え込みに、春が待ち遠しく感じられます。平成最後の議会たよりとなりました。これまで各地の視察研修で得た知恵を議会運営に活かし、今年はいくつと住民との懇談会等、開催し、議会たよりも町民の皆様と一体化した誌面作りに取り組んでいきます。ご意見・ご協力をお願いします。

二〇一九年も皆様にとりまして、素晴らしい年となりますようにお祈りします。

編集後記

あなたも議会の傍聴してみませんか

次回の定例会は **3月1日(金)** からの予定です。特に事前申し込みは必要ありません。